

平成 26 年度 大阪教育大学「学生表彰」学生業績

学長表彰（7名）

○福壽 亮太（ふくじゅ りょうた） 大学院 美術教育専攻 2回生

【業績概要】

公益社団法人日本書芸院が主催する「全日本高校・大学生書道展」において、平成 25 年度第 18 回展では、漢字部門「優秀賞」、篆刻部門「書道展賞」を受賞、平成 26 年第 19 回展では、漢字部門「書道展大賞」、篆刻部門「書道展賞」を受賞。（いずれの年度も 10,000 点以上の出品作品の中から、大賞は約 50 点、書道展賞は約 350 点、優秀賞は 750 点が選出される。）また、奈良県などが主催する平成 26 年第 61 回日本学書展では、奈良県議会議長賞（9,365 点の出品作品から 63 点が特賞に選出された。高校・大学生の漢字部での特賞は 13 点。）を受賞するなど、在学中、学術において特に顕著な成果をおさめた。

○山倉 のどか（やまくら のどか） 教員養成課程 数学教育専攻 4回生

【業績概要】

平成 26 年度は大学のホームページや広報誌『天遊』、高校生対象の受験雑誌等で本学のモデルを勤め、PR 活動に大きな貢献をした。また、奈良県の教員採用試験において総合 1 位となった。部長を勤めるモダンダンス部では、柏原市のキッズダンサーに振り付け指導を行い舞台上で一緒に踊るなど、地域貢献も果たした。また、学生チャレンジプロジェクト採択企画「Dance and Arts Educational Communication」においては主要メンバーとして、また平成 25 年度は代表として活動した。本学の他団体のみならず、奈良教育大学や京都教育大学とコラボした企画を催すなど三教育大学の連携事業にも貢献した。在学中、正課・課外を含めたこれらの業績は、他の学生の範となるものである。

○橋口 若葉（はしぐち わかば） 教養学科 スポーツ専攻 4回生

【業績概要】

平成 23 年度 ジャパンオープン 400m個人メドレー決勝 7 位・日本学生選手権 200m個人メドレー決勝 1 位（全体 8 位）、400m個人メドレー B 決勝 8 位（全体 16 位）

平成 24 年度 日本選手権兼ロンドンオリンピック選考会 400m個人メドレー決勝 8 位・日本学生選手権 400m自由形決勝 7 位

平成 25 年度 日本選手権 400m個人メドレー B 決勝 7 位（全体 15 位）・国民体育大会 400m自由形決勝 8 位 日本学生選手権 400m個人メドレー B 決勝 5 位（全体 13 位）、400m自由形 B 決勝 8 位（全体 16 位）

平成 26 年度 日本学生選手権 400m個人メドレー B 決勝 8 位（全体 16 位）

以上のように、在学中、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

○眞継 麻礼（まつぎ まあや） 教養学科 スポーツ専攻 4回生

【業績概要】

第 2 回 U-22 東アジアハンドボール選手権大会 2014 の日本代表に選ばれ、主将としてチームを引

っ張り、第2位の成績をおさめた。さらに、全日本学生選手権大会（インカレ）において、チームを準優勝に導くとともに優秀選手賞を受賞するなど、在学中、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

○板野 陽（いたの みなみ） 教養学科 スポーツ専攻 4回生

【業績概要】

第2回U-22東アジアハンドボール選手権大会及び第22回世界学生選手権大会2014の日本代表に選ばれ、日本チームの勝利に貢献した。さらに、全日本学生選手権大会（インカレ）において、チームを準優勝に導くとともに特別賞を受賞するなど、在学中、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

○竹田 香波（たけだ かなみ） 教養学科 スポーツ専攻 4回生

【業績概要】

体育会剣道部に所属し、3回生では団体戦で平成25年第32回全日本女子学生剣道優勝大会において副将を務め、準優勝に貢献した。平成25年第28回西日本女子学生剣道大会でも優勝に大きく貢献した。また、個人戦では平成25年の第33回全日本女子学生選手権大会に関西代表として出場、平成26年第8回全日本女子学生東西対抗試合では関西代表として四将を務めた。平成26年の日韓交流剣道親善試合では関西代表となり、優勝に貢献するなど、在学中、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

○小倉 健志（おぐら けんじ） 教養学科 スポーツ専攻 4回生

【業績概要】

体育会剣道部に所属し、4年間レギュラーとして活躍。特に4回生では平成26年の第62回関西学生剣道選手権大会で個人優勝を納めた。平成25年第61回、平成26年第62回全日本学生剣道選手権大会に関西代表として2年連続出場、また今年は同日に行われた第61回全日本学生剣道東西対抗試合に西軍代表として出場し、優秀選手に選ばれた。また、日韓交流剣道親善試合にも2年連続出場した。団体戦では第59回（平成23年）、第61回（平成25年）、第62回（平成26年）全日本学生剣道優勝大会に出場するなど、在学中、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

学長特別表彰（1名5団体）

○小林 奈央（こばやし なお） 教養学科 スポーツ専攻 3回生

【業績概要】

日本選手権 100mバタフライ決勝7位、200mバタフライB決勝6位（全体14位）

ジャパンオープン 100m決勝6位、200mバタフライB決勝2位（全体10位）

日本学生選手権 100mバタフライ決勝2位、200mバタフライ決勝2位

国民体育大会 100mバタフライ決勝3位

以上のように、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

○みんなのChat&Map

【業績概要】

学生チャレンジプロジェクト採択企画として障がいのある学生及び留学生を含む「しゃべり場」の実施による学生間の交流を促進するとともに、「みんなのお気に入りマップ」のデータ（440名）を集め、リーフレットを作成した。また、「バリアフリーマップ」の作成や「しゃべり場」の継続など、大きな社会貢献を果たした。

○体育会女子ハンドボール部

【業績概要】

長崎国体2014において大阪府の代表として出場し、第5位の成績を収めた。さらに平成26年度全日本学生ハンドボール選手権大会（インカレ）において準優勝するなど、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

○介護グループ「誠組」

【業績概要】

介護グループ「誠組」は、本学卒業生で難病を患い、先ごろ亡くなられた書道家、石井誠さんの生活保障を11年間に渡り支えてきた学生団体である。「誠組」のメンバーは完全な無償ボランティアで石井さんの日常生活全般と書道の制作活動の支援に務めた。石井誠さんの自己実現に関して、また難病を患う方々の地域での生活を支えていく上でも、大きな社会貢献を果たした。

○東日本大震災被災障がい者支援プロジェクト

【業績概要】

本プロジェクトの学生19名は夏季休暇中、岩手県田野畑村を訪ね「福祉事業所ハックの家」と連携して宮古圏域（宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村）の被災障がい児を日中の間受け入れ、2週間あまり支援活動を行った。また、仮設住宅に住む障がいのない児童に対しても学習指導による支援を行った。さらに、2回の大学祭において東日本大震災被災障がい児のこれまでと今後、障がい児の学校防災の資料展示を行うとともに、被災地の特産物を販売し、収益金を「福祉事業所ハックの家」に送った。今年で4年目となるが、本学がこの取り組みを継続することにより被災地の人の「忘れられた」という思いを払拭し被災地の人たちのニーズ、期待に応えるなど、大きな社会貢献を果たした。

○障がい学生修学支援ルーム「チーム共創」

【業績概要】

障がい学生修学支援ルームの学生の団体は、平成26年に筑波国際会議場で開催された「第10回日本聴覚障害学生高等支援シンポジウム」内の「実践事例コンテストで『グッドプラクティス賞』を受賞した。このコンテストは全国の高等機関が日頃実践している支援の取組を発表し、参加者の投票により優れた取組を表彰する全国規模のコンテストである。2年連続の入賞は、障がい学生支援を通して本学の評価を向上させるものであり、大きな社会貢献を果たした。